

博 士 課 程 授 業 科 目

共 通 領 域

令 和 8 年 度 授 業 日 程

京都府立医科大学大学院医学研究科

《 博 士 課 程 》

履修にあたっては、「大学院履修概要」をよく読み、必要な手続きをとること。

授業科目の名称		取得必要 単位数	授業日程・方法 講義内容	開講時期	取りまとめ 担当教員
必修	統合医科学概論（1単位）	1単位	P.2～3 参照	6, 7, 10 月	研究部長
	医学生命倫理学概論1（1単位）	1単位	P.4 参照	8, 9 月	瀬戸山教授
	医学生命倫理学概論2（1単位）	1単位	P.5 参照	7, 10, 12 月	池谷教授
	医学研究方法概論（1単位）	1単位	P.6～10 参照	5～7, 9 月	研究部長
選択	加齢医科学（1単位）	4 単位 以上	P.11 参照	10, 11 月	研究部長
	医療レギュラトリーサイエンス学 （1単位）		P.12 参照	6～10 月	中島教授
	応用言語学（1単位）		P.13 参照	5～10 月	木塚教授
	基礎統計学（1単位）		P.14～15 参照	10, 11 月	吉井教授
	大学院特別講義（1～4単位） ※ 8回出席ごとに1単位を認定		随 時 日程は都度周知	通 年	研究部長

<履修要件>

【必修科目】 1～3年次の間に履修

統合医科学概論 : 2 講以上受講すること。

医学生命倫理学概論 1 : 第 1 講及び第 5 講を含む最低 3 講以上受講の上（同内容の講義回への出席は、1 回とカウント）、担当教員が課す各回のフィードバックコメント及びレポート課題を提出すること。なお、単位認定及び成績評価は、出席要件を満たし、レポート課題を提出した年度又は 3 年次の年度末に行う。

医学生命倫理学概論 2 : 最低 2 講以上受講の上、受講した講義の担当教員が課す課題またはテストにおいて 60 点以上得点すること。

医学研究方法概論 : 「R I 研究方法特論」「実験動物学研究方法特論」の受講は必須とし、その他 2 講以上受講すること。

【選択科目】 1・2・3・4年次のうち1年間で履修

加齢医科学 : 2 講以上受講すること。

医療レギュラトリーサイエンス学 : 3 講以上受講すること。

応用言語学 : 大学院履修概要を参照のこと。

基礎統計学 : 大学院履修概要を参照のこと。

【大学院特別講義】 1～4年次の間に任意履修 ※履修登録は不要

大学院特別講義 : 8 回の出席ごとに 1 単位を認定。

<成績評価> 共通領域の必修科目の成績評価（優、良、可、不可）は、履修が完了する年度に行う。

令和8年度 統合医科学概論 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

6月15日(月) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	大学院の研究とは 担当 : 研究部長 榎村教授 医学研究とは何か、歴史や社会的意義を含めて議論する。また医学研究に向き合う姿勢と倫理に関して議論する。
6月23日(火) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	医学的人間学と科学的研究 担当 : 医学生命倫理学 杉岡准教授 本講義では医学における人間観の重要性について、医師で哲学的考察をおこなったV.フランクルやV.ヴァイツゼカーを取り上げながら、具体的に考察します。また、全人的医療の観点から関連する科学的研究結果も紹介します。
6月25日(木) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	臨床研究と生命倫理 担当 : 医療フロンティア展開学 加藤教授、今井准教授 ヒトを対象とした臨床研究を計画し実施する上で必要な医師・研究者としての生命倫理について、法制度、各種ガイドラインを含めて解説する。
6月30日(火) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	疫学研究のデザイン 担当 : 地域保健医療疫学 高嶋教授 疫学は人の集団を対象として、主として健康状態とそれに関連する要因を明らかにすることを目的にしている。疫学研究のデザインについて概説する。
7月16日(木) 16:10～17:40 ハイブリッド (第2演習室、Zoom)	疫学研究における疑問の定式化、研究デザインとデータ源の選択 : 医療情報部 猪飼准教授 地域保健医療疫学(リアルワールドデータ研究支援部門) 石田特任助教 特定の病態をめぐる診療パターンのばらつきや長期予後の分析・評価において、従来の症例登録票に基づくコホート研究を補完・代替するデータとして、 (1) 電子カルテに由来するデータウェアハウス (2) レセプトデータやDPCデータなどの医事データ の活用が進んでおり、全国レベルでの基礎的な集計データも公開が進んでいる。これらのデータを医学研究に活用するために、データの特性や限界のほか、データの所在・利用方法・解析上の留意点などの基本を概説する。京都府医科/健診/介護レセプトデータを活用した研究相談を講義後に予定(対面のみ)
10月7日(水) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	予後因子解析と臨床予測モデル構築 担当 : 生物統計学 手良向教授 予後/リスク因子解析は観察研究等のデータから重要な情報を得る基本的手法の1つである。また、患者をリスクグループに分類する臨床予測モデルは臨床に有用なツールとなり得る。本講義では、予後/リスク因子解析および臨床予測モデル構築の方法論を基礎から解説する。

10月13日(火) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	医学研究と利益相反 (Conflict of Interest) 担当 : 医学生命倫理学 瀬戸山教授 製薬企業と研究者との間の経済的利益関係や癒着など、職務上のさまざまな構造的な要因が研究不正の背景にはある。利益相反 (Conflict of Interest) のマネジメントは、利害関係を可視化し、中立な研究が阻害されないように研究環境をガバナンスし、研究の信頼性維持に不可欠なものである。本講義では、臨床研究法や海外の動向を踏まえながら利益相反マネジメントの意義と現状、そして課題について考える。 ※10 分以上の遅刻及び 10 分以上早くの退出は出席とみなされない。出席及び提出する授業フィードバックコメントシートの内容によって評価する。
10月19日(月) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	疼痛治療学と緩和医療学 担当 : 麻酔科学 天谷教授 疼痛治療と緩和医療の基礎と臨床について概説する

※ 履修要件： 2 講以上受講すること。

令和8年度 医学生命倫理学概論1 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

8月26日(水) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	第1講:生命倫理・医療倫理の諸原則とパターナリズム 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授
8月28日(金) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	生命倫理学(医療倫理学・臨床倫理学)とは何かについて、その学問上の射程と方法論を自然科学との比較の観点から講義する。基本的な分析指標となる自己決定制約の四原理:危害(加害)防止原理、不快防止原理、モラリズム、パターナリズム、及び生命(医療)倫理の4原則:自律尊重原則、無危害・不悪行原則、善行・仁恵原則、正義・公正原則の相互対立関係と相互調整の必要性について具体的な事例や裁判に基づきながら理解する。また患者の意思決定を支援するナッジ(リバタリアン・パターナリズム)の効用についても理解する。
8月31日(月) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom) 9月2日(水) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	第2講:遺伝学的情報のプライバシーと遺伝子差別 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授 遺伝子検査技術の劇的な進歩と低コスト化により、ゲノム解析研究や遺伝子検査ビジネスが急成長してきている。遺伝学的情報の解明は、遺伝性疾患の治療や予防、ゲノム創薬や個別化医療の促進などの恩恵が期待されている。他方で、保険や雇用その他の遺伝子差別や社会での格差助長という意図せざる副作用が懸念されている。遺伝情報の解明がもたらす倫理的・法的・社会的問題(ELSI)としての遺伝子差別問題について講義し遺伝情報の知る権利と知らないでいる権利等のプライバシー保護の必要性和遺伝子差別禁止法の問題を理解する。
9月4日(金) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	第3講:生殖補助医療をめぐる生命倫理の今日的課題 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授 母体血を用いた非侵襲的出生前診断と選択的中絶、着床前診断と胚選別・救世主兄弟(デザイナーベビー)、精子・卵子・凍結受精卵の売買、代理出産と生まれてくる子どもの法的地位や出自を知る権利など、生殖医療やビジネスの倫理的諸問題や生をめぐる医療技術へのアクセスの是非、リプロダクティブ・ライツと新優生主義・内なる優生思想、障がいの社会モデル等について具体的な事例をもとに「当事者性」の観点から考え理解する。
9月7日(月) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	第4講:終末期医療をめぐる生命倫理の今日的課題 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授 国内や海外での事例や裁判例を参照し、医師の自殺ほう助などの積極的安楽死や尊厳死、生命維持装置の取り外しや治療停止などの消極的安楽死、重度障害新生児の治療停止、臓器売買問題、宗教上の理由による輸血拒否、人生の最終段階における意思決定支援とアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)の意義、ジョンセンの4分割法などの臨床倫理の方法論について解説し、多職種協働による倫理コンサルテーションの必要性や臨床倫理相談委員会の役割について理解する。
9月11日(金) 9月15日(火) 17:30～19:00 オンライン講義(Zoom)	第5講:医学研究不正と研究倫理・研究公正 担当：医学生命倫理学 瀬戸山教授 本学で生じたディオバン事案その他の特定不正行為や不適切な研究活動など、基礎研究や人を対象とした臨床研究をめぐる研究不正の原因(不正のトライアングル)について考える。逸脱の標準化をもたらす隠れたカリキュラムなどの組織環境の構造的な問題、利益相反管理の必要性や研究審査委員会の役割と限界、研究参加者のリクルートや遺伝情報に関する偶発的所見の研究協力者への開示の問題など、臨床研究をめぐる諸問題について研究参加者保護やパターナリズムの観点から講義し、研究公正並びに志向倫理教育の重要性について理解する。

※ZOOMで授業を行う。受講中は画面に氏名を表示し画像を必ずオンにすること。開始時並びに終了時にチャット機能で出欠確認を行う。また毎回の課題のフィードバックコメントの提出内容は成績対象となる。10分以上の遅刻及び10分以上早くの退出は出席とみなされない。車や公共交通での移動中の受講は禁止し出席とはみなされない。

※履修要件：第1講及び5講を含む最低3講以上受講の上（同内容の講義回への出席は1回にのみカウント）、担当教員が課す各回のフィードバックコメント及びレポート課題を提出すること。なお、単位認定及び成績評価は、出席要件を満たし、レポート課題を提出した年度又は3年次の年度末に行う。

令和8年度 医学生命倫理学概論2 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

7月2日(木) 14:30～16:00 ハイブリッド (基礎3階307号室)	死と医療と法 担当：松宮客員教授(法医学)
	我が国と諸外国における安楽死・尊厳死に関する法的現状とその問題点について講義する。
10月22日(木) 16:10～17:40 オンライン講義(Zoom)	人生の終末における心の救い 担当：鍋島客員教授(法医学)
	医療者としての死生観、患者およびその家族とのかかわりについて講義する。
12月9日(水) 18:00～19:30 オンライン講義(Zoom)	自由診療 担当：法医学 池谷教授
	がんや難病などに対する先端医療(再生医療、遺伝子治療、免疫療法など)を実施することを標榜する自由診療の問題、対応策としての法制度の課題などについて講義する。
12月16日(水) 18:00～19:30 オンライン講義(Zoom)	臨床倫理(特に終末期医療) 担当：法医学 池谷教授
	終末期医療に臨むに際して、医療者が理解しておくことが求められる倫理的・法的ルール及び考え方、実際の対応方法について講義する。

※履修要件：最低2講以上受講の上、受講した講義の担当教員が課す課題またはテストにおいて60点以上得点すること。

令和8年度 医学研究方法概論 講義日程一覧表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 必修科目)

月日	曜日	時間	場所	講義内容	担当教員等	ページ
5/8	金	14:30~16:00	オンライン	実験動物学研究方法特論・演習 (必修)	大塚 准教授 (実験動物センター)	P9
5/18	月	18:00~19:30	オンライン	※2日のうち、どちらか1日に出席すること		
5/8(金) ~ 5/29(金)			オンライン	RI研究方法特論・演習 (必修) ※オンデマンド型動画を視聴	勝山 研究教授 (RIセンター)	P10
5/28	木	16:10~17:40	オンライン	蛋白発現・相互作用解析法	藤本 准教授 (分子病態病理学)	P7
6/2	火	①12:50~14:50 ②15:00~16:30	①第3演習室 ②オンライン	電子顕微鏡使用法 ※事前予約制	松尾 助教 (生体機能形態科学)	P7
6/9	火	14:30~16:00	ハイブリッド (第2演習室、Zoom)	遺伝子導入と遺伝子発現制御	岸田 准教授 (免疫学)	P9
6/11	木	12:50~14:20	第3実習室	光学顕微鏡の基礎と細胞・組織観察への応用	原田 教授／望月 助教 (細胞分子機能病理学)	P7
6/17	水	16:10~17:40	オンライン	医学研究における統計学の役割	手良向 教授 (生物統計学)	P10
6/22	月	14:30~16:00	オンライン	質量分析法の薬物スクリーニングへの応用	新谷 准教授 (法医学)	P8
7/2	木	16:10~17:40	オンライン	形態の科学とバイオイメージング法	松田 准教授 (生体構造科学)	P7
7/7	火	18:00~19:30	オンライン	生化学・分子生物学実験法	吉田 講師 (分子生化学)	P8
7/8	水	16:10~17:40	オンライン	イオンチャネル研究法	樽野 教授 (細胞生理学)	P8
7/10	金	14:30~16:00	オンライン	微生物のメタゲノム研究法	西岡 講師 (感染病態学)	P9
7/23	木	16:10~17:40	オンライン	オルガノイド培養技術を用いた医学研究モデル	榎村 教授／岡田 助教 (病態分子薬理学)	P8
7/28	火	18:00~19:30	オンライン	急速に進歩する疾患のゲノム解析の方法	田代 教授 (ゲノム医科学)	P9
7/29	水	18:00~19:30	オンライン	一般組織化学的研究法	中島 学内講師 (生体機能形態科学)	P7
9/29	火	16:10~17:40	ハイブリッド (第1演習室、Zoom)	リアルワールドデータを用いた「医療の質」評価と医療サービス研究	猪飼 准教授(医療情報部)／ 石田 特任助教(地域保健医療疫学(リアルワールドデータ研究支援部門))	P10

※ RI研究方法特論・演習については、オンデマンド形式の動画配信にて授業を行います。

※ 電子顕微鏡使用法については、受講者数を制限して実施しますので、希望者は後日連絡する案内に従い、事前申し込みをしてください。

※ 履修要件：「R I 研究方法特論」「実験動物学研究方法特論」の受講は必須とし、その他2講以上受講すること。

令和8年度 医学研究方法概論 講義内容等

1 形態学研究方法特論・実習

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
蛋白発現・相互作用解析法 遺伝子の機能を理解するには、遺伝子がコードするタンパク質の発現部位すなわち発現細胞の同定と細胞内局在の理解が不可欠である。また、タンパク質の機能を明らかにする上で、相互作用タンパク質の理解が一助となる。本講義では、ペプチドタグ挿入マウス及びビオチンリガーゼ融合タンパク質を用いた研究を題材に、タンパク質機能局在の同定と相互作用タンパク質の同定に必要な免疫組織・細胞染色や分子間相互作用研究の方法論を概説する。	分子病態病理学 藤本准教授	5月28日(木) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)
電子顕微鏡使用法 ※事前予約制 電子顕微鏡生物試料作製法と観察法について解説する。 なお、本講義は中央研究室の電子顕微鏡利用に必要な電子顕微鏡講演会を兼ねている。(中央研究室電子顕微鏡室、透過型電子顕微鏡(JEM-1220)の新規利用を希望する者は必ず受講すること。)	生体機能形態科学 松尾助教	6月2日(火) ①12:50~14:50 第3演習室 (基礎医学学舎2階) ②15:00~16:30 オンライン講義(Zoom)
光学顕微鏡の基礎と細胞・組織観察への応用 細胞や組織の形態を可視化する光学顕微鏡は、生命科学の研究に必須のツールである。光学顕微鏡の機能を十分に発揮させるためには、光の性質や顕微鏡の基本原則を理解しておくことが良い。本講義ではそれら基本に触れた上で、一般的な光学顕微鏡・蛍光顕微鏡・レーザー走査型顕微鏡などにつき各々の仕組みや適切な扱い方を解説する。	原田教授/望月助教 細胞分子機能病理学	6月11日(木) 12:50~14:20 第3実習室 (基礎医学学舎2階)
形態の科学とバイオイメージング法 蛍光タンパク(green fluorescent protein:GFP)を用いて蛍光顕微鏡・共焦点顕微鏡で特定分子、オルネガラ、細胞を標識し観察する実験が、簡便性もあり多用されている。本講義では、蛍光タンパクを用いてできることを、FRAP、FRET等の生細胞イメージング法も含めて概説する。	松田准教授 生体構造科学	7月2日(木) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)
形態の科学とバイオイメージング法 一般組織化学的な研究手法について、組織切片の作成方法と免疫組織化学法を中心に、その原理の解説に加え、実際の実験手順や目的にあった実験の選択方法等について概説する。 又、<i>in situ</i> ハイブリダイゼーション法についても概説する。	中島学内講師 生体機能形態科学	7月29日(水) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)

2 生理学研究法特論・実習

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
イオンチャネル研究法	細胞生理学 樽野教授	7月8日(水) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)
イオンチャネルは生体膜を介したイオンの拡散を精密に調節する。様々な性質をもったイオンチャネルが存在し、神経活動をはじめとした全身の様々な生理機能への重要な役割を担っている。本講義では、電気生理学・分子生物学・生化学・分子遺伝学の手法を駆使したイオンチャネル研究法を概説する。		

3 生化学研究法特論・実習

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
質量分析法の薬物スクリーニングへの応用	法 医 学 新谷准教授	6月22日(月) 14:30~16:00 オンライン講義 (Zoom)
質量分析計(MS)は高感度に質量等の分子構造情報を与える検出法で、操作・保守が簡便で比較的安価なMSの技術開発により、ライフサイエンス領域における汎用機器として近年急速に普及している。また、MSは種々のクロマトグラフと組み合わせることで、生体試料のような複雑な組成を持つ試料の定性・定量に威力を発揮することから、薬物のスクリーニング検査に不可欠なツールになりつつある。本講義ではMSの種類や特徴を説明するとともに、1,000種類以上の薬物やその代謝物を一斉検索する薬物スクリーニング法や未知化合物の検索法を法医学教室で扱った薬物中毒症例を紹介しながら解説する。		
オルガノイド培養技術を用いた医学研究モデル	病態分子薬理学 煤村教授 岡田助教	7月23日(木) 16:10~17:40 オンライン講義 (Zoom)
生命医学研究領域において注目されているオルガノイド培養技術の基本原則と応用について紹介する。幹細胞からの三次元組織構築法、様々な臓器オルガノイドの作製方法、および疾患モデリングや薬効評価への活用法の基礎および応用について解説する。		
生化学・分子生物学実験法	分子生化学 吉田講師	7月7日(火) 18:00~19:30 オンライン講義 (Zoom)
近年の生化学・分子生物学研究において、遺伝子発現解析、転写因子解析および遺伝子組換え生物作製は基本的実験技術である。これらの基礎的知識を再確認し、その実験方法・原理について、実際の学術論文データを参照しながら概説する。また、各々の研究者は、遺伝子組換え生物の持つ人体や環境への悪影響を最小化し、生物の多様性を保持するための方策を遵守する責務を負う。遺伝子組換え実験を実施する上で遵守すべきカルタヘナ法についても解説する。		

4 感染学研究法特論

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
微生物のメタゲノム研究法	感染病態学 西岡講師	7月10日(金) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)
病原微生物による感染症およびアウトブレイクへの対応には、病原体の迅速な同定が不可欠である。近年のゲノミクスの発展により、ヒトのみならず野生動物における病原体のゲノム情報は十分な蓄積があり、未知(新規)病原体であっても、そのゲノム断片の遺伝子情報を得ることができれば、即座に(近縁)微生物を同定し、以後の対策に応用できる。 ここでは、ハイスループットシーケンサー等を用いた、各試料から微生物ゲノムを網羅的に探索し同定する技術を紹介する。その発展性や展望についても解説する。		
遺伝子導入と遺伝子発現制御	免 疫 学 岸田准教授	6月9日(火) 14:30～16:00 ハイブリッド (第2演習室、Zoom)
哺乳類細胞に対する遺伝子導入と、遺伝子発現制御の最新技術について解説します。		

5 分子遺伝学研究法特論

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
急速に進歩する疾患のゲノム解析の方法	ゲノム医科学 田代教授	7月28日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)
多因子疾患やがんのゲノム研究方法を解説する。がんゲノム医療の裏付けとなっているサイエンスを理解する。		

6 実験動物学研究方法特論・演習

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
実験動物学研究方法特論・演習	実験動物センター 部 門 長 大塚准教授	5月8日(金) 14:30～16:00 オンライン講義 (Zoom)
京都府立医科大学動物実験規程及び動物実験における留意事項についての講義・演習を行う。 1. 実験動物学概論 2. 実験動物学に関連する法規 3. 動物実験の福祉と倫理 4. 京都府立医科大学動物実験規程 5. 実験動物の取り扱い		5月18日(月) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom) ※どちらかに出席 すること

7 RI研究方法特論・演習

項 目 、 講 義 内 容	担当者	実施方法
RI研究方法特論・演習 放射性同位元素 (RI) の基礎的な性質と、ライフサイエンス分野における応用を概説するとともに、実際に RI を用いて研究する上での注意点などを講義する。さらに臨床における RI の利用と、放射性物質を取り巻く最近の社会問題についても触れる。 1)放射線の基礎知識 2)放射線の人体に与える影響 3)RI を取り扱うにあたり遵守すべき事項 4)基礎研究に用いる RI 5)放射線による診断と治療 6)京都における原発問題	RIセンター 部 門 長 勝山研究教授	オンデマンド 形式の動画配信 ＜受講期間＞ 5月8日(金)～ 5月29日(金) ※詳細は追って 通知する

8 生物統計学概論

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
医学研究における統計学の役割 医学研究において頻度流統計学(主に統計的仮説検定、P 値、信頼区間)を正しく利用するための心得について解説した上で、将来主流になるであろうベイズ流統計学の基本的考え方と可能性を解説する。	生物統計学 手良向教授	6月17日(火) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)

9 医療データベース研究概論

項 目 、 講 義 内 容	担当者	日時・場所
リアルワールドデータを用いた「医療の質」評価と医療サービス研究 レセプトデータや DPC データなどの医事データは、ランダム化比較試験をはじめとする実験的な診療環境とは異なり日常の実診療を反映する「リアルワールドデータ(RWD)」に位置づけられ、医療の質指標・ベンチマーキングや地域医療体制を評価する医療サービス研究、さらにはコホート研究を補完・代替するデータとしても試行的に活用され始めている。本講義ではこれら RWD の特性と活用法について概説する。	医療情報部 猪飼 准教授 ・ 地域保健医療疫学 (リアルワールドデータ 研究支援部門) 石田特任助教	9月29日(火) 16:10～17:40 ハイブリッド (第1演習室、 Zoom)

令和8年度 加齢医科学 講義日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

日 時	講 義 内 容 ・ 担 当 教 員
10月1日(木) 16:10～17:40 ハイブリッド (第1演習室)	老化 (Senescence) と加齢 (Aging) 講義担当者 : 生体機能形態科学 八代教授
	本講義では、細胞老化 (cellular senescence) と個体老化 (aging) の概念を整理し、DNA 損傷応答やテロメア短小化、ミトコンドリア機能異常などを契機とする老化誘導機構を概説する。さらに、p16・p21 の活性化や SASP (老化関連分泌形質) の意義と二面性、発生・組織修復における生理的役割を論じる。加えて、ゲノム不安定性、Sirtuin、テロメア動態、早老症モデルや長寿動物の知見を通じて、寿命制御の分子基盤を考察し、senolytics / senomorphics など老化制御への介入戦略の可能性を展望する。
10月29日(木) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	超高齢化社会における脳卒中診療 講義担当者 : 脳神経内科学 尾原教授
	超高齢化社会の進展に伴い、高齢者の脳卒中は今後さらに増加すると予測されている。本講義では超高齢者の脳卒中の特徴や診療・治療における課題を解説し、最新の知見を踏まえた治療戦略について説明する。
11月4日(水) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	アルツハイマー病の発症機構と抗アミロイド治療 体液マーカーの展望と課題 講義担当者 : 脳神経内科学 笠井准教授
	2023 年末から本邦においても抗アミロイド治療が保険収載されアルツハイマー病治療は新しい時代を迎えている。本講義では抗アミロイド治療の理論的基盤となるアミロイド仮説、アルツハイマー病バイオマーカー、および治療の現状について概説し本領域の今後の課題を説明する。
11月10日(火) 16:10～17:40 オンライン講義 (Zoom)	脳老化と疾患の基礎研究 講義担当者 : 基礎老化学 渡邊講師
	近年、老化研究は新たな段階に入り、神経変性疾患をはじめとする加齢関連疾患の発症機序や治療法開発に関する基礎研究が急速に進展している。本講義では、神経変性疾患や老化に関する最新の研究を多角的に紹介し、今後の展望について論じる。

※ 履修要件 : 1・2・3・4年次のうち1年間で履修。2講以上受講すること。

令和8年度 医療レギュラトリーサイエンス学授業日程表

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

6月23日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	レギュラトリーサイエンス概論と臨床研究関連規制 担当: 医療レギュラトリーサイエンス学 中島教授 医薬品等の品質、有効性、安全性の予測、評価、判断に関する科学としてのレギュラトリーサイエンスを概説する。また、医薬品等の研究開発のために実施される治験や臨床研究関連規制について最近の改正事項を中心に講義する。
7月6日(月) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	医薬品承認審査概論 担当: 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 成川審査センター長 PMDA・厚労省の役割を含めた承認審査の全体像を講義する。また、医薬品等のリスク・ベネフィット評価に基づく承認審査の実際について講義する。あわせて、最近の薬事規制に関するトピックを紹介する。
9月25日(金) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	感染症治療薬・診断薬の研究・開発 担当: 分子病態感染制御・検査医学 貫井教授 病原体の理解から創薬・診断技術の実用化までの一連の流れを体系的に講義する。基礎研究や臨床研究を立案・遂行する際に留意が必要な事項や実際の研究の進め方などについて、講師自身の経験も交えながら講義する。
10月6日(火) 18:00～19:30 オンライン講義 (Zoom)	感染症ワクチンの承認審査 担当: 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 塩川ワクチン等審査部長 感染症予防ワクチンの概念、種類、最新の開発動向を紹介した上で、承認審査の考え方を説明する。病原体に由来する物質を健康な人に投与するワクチンの特性を踏まえ、品質や安全性の厳格な評価、予防効果のエンドポイント、緊急時における承認のあり方など、審査プロセスを体系的に講義する。
オンデマンド 形式の動画配信 〈受講期間〉 7月6日(月)～ 10月6日(火)	国際的な薬事規制(英語) 担当: 米国医薬品食品庁(FDA) テレサ・ムリン 医薬品評価・研究センター副センター長 国際的な薬事規制として ICH と FDA に着目し、その最新動向を紹介する。ICH が進める国際基準の策定と調和活動、FDA の最新動向など国際的な薬事規制の方向性と国際調和の重要性を体系的に講義する。

※ 履修要件：1・2・3・4年次のうち1年間で履修。3講以上受講すること。

応 用 言 語 学

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

担当 木 塚 雅 貴 教授

1 Applied Linguistics

The aim of the course is to understand what applied linguistics is all about, how its research is implemented, and what insights we can obtain from its research outcomes. Although applied linguistics is a part of linguistics, it has a close relationship with some aspects of medicine. The course will mainly focus on the features which bridge the gap between language and medicine.

2 Course outline

The course covers the following topics in a series of five regular classes and two special lectures:

1. What is applied linguistics? (Interdisciplinary study.)
2. How do babies/children acquire and develop their first language? (The process of first-language acquisition.)
3. How do people acquire, learn, and ultimately master their second/foreign language(s)? (Second-language acquisition/learning and foreign language learning/teaching.)
4. What relations are there between language and cognitive science? (Language-processing model on grammar and multiple intelligences.)
5. How do professionals think about and use their language? (Professional expertise.)

Each of the classes will consist of a one-hour lecture, followed by a half-hour essay-composition period concerning the lecture topic.

The lecture classes will be conducted only in English.

There are two special lectures on “healthcare on remote islands” in Japan this year: They cover the islands in Kagoshima and an island in Okinawa, delivered in Japanese by Japanese medical doctors from Kagoshima and Okinawa.

3 Class dates and venues

- | | | | |
|---|----------|-------------|---------------|
| ① | 5月11日(月) | 17:00~18:30 | オンライン講義(Zoom) |
| ② | 5月29日(金) | 17:00~18:30 | 図書館ホール(対面) |
| ③ | 6月8日(月) | 17:00~18:30 | オンライン講義(Zoom) |
| ④ | 7月13日(月) | 17:00~18:30 | オンライン講義(Zoom) |
| ⑤ | 8月7日(金) | 17:00~18:30 | 図書館ホール(対面) |
| ⑥ | 9月14日(月) | 17:00~18:30 | オンライン講義(Zoom) |
| ⑦ | 10月5日(月) | 17:00~18:30 | オンライン講義(Zoom) |

基礎統計学

(大学院医学研究科統合医科学専攻(共通領域) 選択科目)

担当 吉井 健悟 教授
三澤 亮太 講師
長崎 生光 特任教授

1 授業内容

医学・生命科学研究に不可欠な統計学の基礎理論（確率分布、推定、仮説検定、回帰分析）を体系的に学ぶ。実データを用いながら、前提条件の確認、多重比較法、一般化線形モデル、生存時間解析などの応用的手法までを理解する。さらに、統計解析結果の適切な解釈と研究報告における留意点を学び、科学的に妥当な推論を行う能力を養う。

2 到達目標

医学・生命科学研究で扱われるデータの特性を理解し、研究目的に応じた適切な統計手法を選択・実行できる能力を身につける。確率モデルに基づく推定・仮説検定・回帰分析の考え方を理解し、その前提条件を確認した上で解析を行えるようになる。さらに、統計解析結果を批判的に解釈し、科学的に妥当な形で整理・報告できる力を養う。

3 授業方法

本講義は Zoom によるオンライン形式で実施する。講義資料の配布および課題の提出は Google クラウドスルームを用いて行う。ログイン方法および利用方法については、初回講義にて説明する。

4 教室及び授業日（曜日）

講義 金 16:10～17:40

なお、第1回目の講義は10月2日（金）です。

5 単位認定方法

出席状況、レポート課題の達成度および内容、ならびに授業への主体的な取り組み状況を総合的に評価し、単位を認定する。

6 その他

オフィス・アワー

吉井 健悟（生命基礎数理学・教授）

月曜日 14:00-17:30 下鴨キャンパス 稲盛記念館 3F（基礎統計2）

備考：授業に関する質問や相談の際は事前にメールで予約してください。

連絡先のメールアドレスは授業の際に周知する。

○基礎統計学（吉井教授、三澤講師、長崎特任教授）

・講 義

	1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	6 週	7 週
金曜日	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/13	11/20
場 所	オンライン講義 (Zoom)						

【連絡事項】

- ※ 講義の日程や実施方法等に変更があった場合は、koto メールにてお知らせしますので、確認するようにしてください。
- ※ 大学院授業科目（共通領域）および大学院特別講義の日程は、京都府立医科大学 HP に PDF 化したものを掲載していますので、適宜活用してください。
アクセス用の URL 及び QR コードは以下のとおりです。

京都府立医科大学ホームページ

HOME＞学部・大学院＞大学院医学研究科＞博士課程講義日程

<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/department/igaku/kougi.html>

